

中国地域ITコーディネータ連絡会(ITC中国)設立趣意書

中国地域ITコーディネータ新組織検討委員会では、現中国地域ITコーディネータ連絡会にITCAのHPにメールアドレスを公開されているITCを追加して、新組織準備委員会を7月5日に発足しました。

そして、その準備委員会に対し、新組織策定のための検討委員を募集しましたところ、11名の応募があり11名により新組織策定のための議論を行ってまいりました。

約2週間に約50件の議論があり

第1案:中国地域ITC連絡会の延長

- 1年余りの実績から認知度が高い。
自然発生であり総意の組織ではない。
- × 会則が無い。

第2案:各県組織の連合会方式

- 中国地域、各県としての行政窓口が明確になる。
各県の組織化には時間が必要。
- × 経費が発生し、会費の徴収方式にもっと検討が必要。

第3案:NPO全国組織(JSITCA)の中国支部

- 全国的な活動が可能となる。
JSITCA自体が未成熟である。
- × 個人会費の負担が大きい(1万円/年)が、その効果が良く見えない。

等、組織や会則について検討してきました。そして、第3案は時期尚早で見送りとすることになり、第2案をメインで検討しましたが、県単位の組織化や若干ではありますが経費負担の方式に課題もあり、第3案とも含めて、来年度以降の組織案とすることに合意しました。

本年度は第1案とし、その課題である会則を定め、総意による中国地域の行政窓口とする。ただし、各県の行政窓口となれる県単位のITC連絡会の早期立ち上げに努力する。という合意を得ました。

7月22日に以下の設立趣意案と別紙の会則案を新組織準備委員会に付議し、7月29日に一部の修正を経て承認可決されました。

「設立趣意書」

1. 設立趣旨

中国地域のITコーディネータ等(以下、ITCという)がITコーディネータ制度の目的である中堅・中小企業のIT化の推進に寄与し、もって、ITコーディネータ制度の社会浸透とTCとしての知識および技能を向上させること、および、中国地域TCのための情報収集と提供を目的に中国地域ITコーディネータ連絡会を組織化する。

(注)中国地域ITコーディネータ連絡会(以下、ITC中国という)の役割は中国地域ITCのための活動窓口とし、中国各県単位の活動窓口は県単位ITC組織が役割を担うものとする。

2. ITC中国の活動概要

- (1)中堅・中小企業のIT化の推進活動
中国地域にまたがるITCによる事業
- (2)ITコーディネータ制度の広報活動
中国地域にまたがるITコーディネータ制度の紹介
- (3)ITCの知識・技能向上のための活動
中国地域にまたがる研究会やセミナー等の実施
- (4)行政との窓口
中国地域にまたがる情報の収集と提供
- (5)その他、ITC中国が必要と認めた活動

3. 組織形態他

- (1)当面は任意団体とし、将来は法人化あるいは全国的組織の中国地域組織も検討する。
- (2)行政、業界への活動窓口となるために、事務局所在地を明確にする。
(事務局の所在地を事務所とする)
- (3)名称は「中国地域ITコーディネータ連絡会(ITC中国)」とし、
現中国地域ITコーディネータ連絡会(ITC中国)を発展的解散(継承)とする。
- (4)会員は、中国地域で活動するTC、ITC補、ITCインストラクター養成ケース研修修了者の正会員と会が承認した賛助会員とする。
- (5)各県を代表する幹事5名以内およびITC中国選出の代表幹事と事務局を置く。
代表幹事と事務局の兼任も可する。
- (6)幹事および事務局はボランティアとする。
すなわち、無報酬とする。
- (7)会費は徴収しない。
特別な費用が発生した場合は、その都度徴収する。

以 上

平成14年7月18日

中国地域ITコーディネータ新組織検討委員会
(上田治城、植村育夫、片山警二、神庭公祐、久保田浩二、河野亘、
児玉学、古家後啓太、志多木義浩、原田美穂、堀木義信)